

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名		3世代で考える地域防災とドローン				
実施団体名		一般社団法人 しまなみドローン協会				
事業概要		<p>【事業目的】</p> <p>防災・減災における「ドローン（無人航空機）」の役割・可能性を学修していただき、次世代の災害時に力となる新たな若手ドローン操縦士の自治会単位での育成を目的とする。また、昨年度イベント実施時に課題となっていた女性防災士の増員へ繋げることを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <p>女性無人航空機士による災害時のドローンの利活用についての話や、防災士による南海トラフに的を絞った防災の話のあと、段ボールでの椅子の作成や今治工業生と防災士とのコラボで制作された防災紙芝居の披露、そしてドローンを使った防災ドローンクイズを行った。</p>				
事業の発展性		<p>今回の事業を通して「防災士」や「高校生」との繋がりができた。地域や若い世代の方々と交流ができるというのは大きなことだと思っている。平時でも利活用できるドローンをさらに身近に感じてもらうための企画、合わせて災害を自分事として捉え意識し、自助の大切さや自分で備える知識を身につけるという企画を考えていきたい。</p>				
補助額		市補助額	500,000 円	総事業額	867,359 円	補助対象経費 798,157 円
コメント	実施団体	<p>＜事業を実施しての効果＞</p> <p>南海トラフ巨大地震の臨時情報の注意報が発表された後ということもあり、防災に関する情報の収集にはみんな真剣に防災を見直す非常に良い機会になったと思う。3世代対象に行ったイベントだが、子どもたちとその親が多く、さらに幅広くドローンにも興味を持ってもらえることが出来た。防災士と高校生とパイプが出来たことも、これからのドローンの普及を考えると大きな成果となりそうである。</p> <p>＜事業を実施しての問題点＞</p> <p>子どもたちが集まりやすいようにと夏休みの実施にしたが、登校日の直前であったことや、暑さのためか、集客が思うようにできなかった。防災士さんとの時間も思うように取れず、紙芝居作成者も探すのに苦労した。</p> <p>＜問題点に対する解決策＞</p> <p>今年度も広報に関して工夫をしたのだが、次回はさらに時間の余裕を持った広報、開催時期の検討をより工夫したい。防災士さんと窓口ができたので、日頃から協力しあえる関係を深めていきたい。紙芝居作成は結果高校生にお願いすることになったが、こちらもさらに交流を深めて次世代へのドローン普及に努めていきたい。</p>				
	市民活動推進委員	<p>（１）公益性</p> <p>・南海トラフ地震の発生が予想され、その対応の必要性は理解できるものの、市民の防災意識・行動は低調である。防災士会、関係団体と連携し地域が一体となり、防災・減災について学習することは重要である。</p> <p>（２）自発性</p> <p>・自発性と熱意が感じられる。</p> <p>（３）費用対効果及び継続性</p> <p>・参加者が30名と少ないのが残念。</p> <p>・防災訓練、講習会は自治会等で定期的に実施しているので、これらとコラボすれば継続性は見込まれる。ドローンは他の分野でも広く活用されており、これらを参考に災害時の活動範囲を広げることができる。</p> <p>（４）団体の評価</p> <p>・専門性が高く、今後の更なる普及・活躍を期待したい。</p> <p>（５）事業の効果</p> <p>・今後、高校生や若い方々等への周知、またドローンの活用方法など、色々な面で期待が持てる事業だと感じた。</p> <p>・ドローン、段ボールで椅子作りの体験、クイズ、紙芝居など子供から大人まで楽しく学べる事業であった。</p>				

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名		3世代で考える地域防災とドローン
実施団体名		一般社団法人 しまなみドローン協会
コメント	市民活動推進委員	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関にも取り上げてもらえるなど関心度は高いと思われるが、実際の参加人数が思うように集まらなかったのが残念。 ・今後もドローンの活躍の場や重要性は高まるとされる。操作する人の倫理教育も含め、育成・普及を継続してほしい。 ・ドローンを災害時にもっと有効に活用してほしい。 ・災害時等、今後もドローンの活躍の場は広がると思う。身近なものとして多くの方に知っていただけるよう、今後も活躍の場を広げていただきたい。 ・イベント時期についてはもう少し考え、集客に向けた工夫（事前調査等）が必要だと感じた。 ・ドローンの利活用の具体例を強調してもらいたい。 ・中高生への教育を来年度（R7年度）より実施とのことだが、教育とも協力して、将来は10代のうちから防災の意識を高められたら良いと思う。 ・せっかく紙芝居を作成したので、ホームページなどで公開して誰でも見られるようにしたり、貸出をできるようにしたらよいと思う。